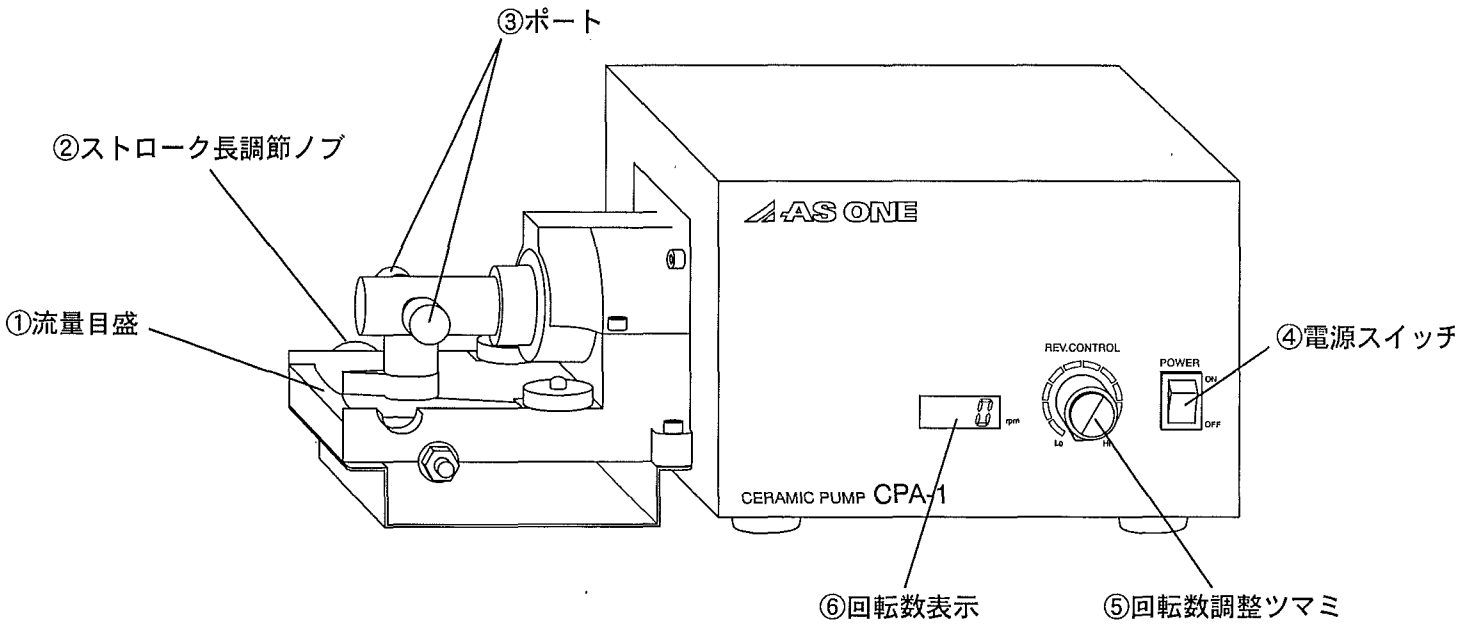
1-7577-01,02

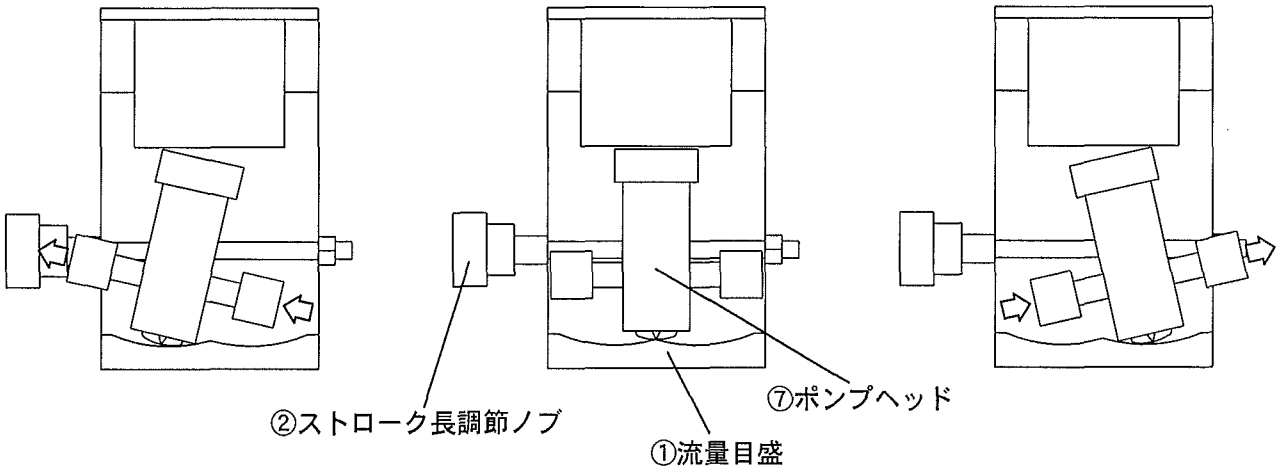
取扱説明書 セラミックポンプ CPA-1・2

この度は弊社製品をお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。
本製品を正しくお使い頂くために、ご使用前には必ず取扱説明書をお読み下さい。
また、お読み頂きました後も大切に保管して下さい。

製品概要



流量と送液方向



②ストローク長調節ノブを回す事により、①流量メモリの０点から⑦ポンプヘッドの傾き角によって、流量及び方向が調節出来ます。

⑦ポンプヘッドが０から左側で、①流量目盛の１０を示していれば、最大流量（１００％）が右ポートから左ポートへと送液されます。又、⑦ポンプヘッドが右側にあれば、左ポートから右ポートへ送液されます。

①流量目盛を５に設定すると流量は最大流量の５０％、４では４０％、３では３０％になります。

※ポンプの作動中に、②ストローク長調節ノブによって⑦ポンプヘッドの傾き方向を変更すると、送液方向が逆になってしまいますので、ご注意下さい。

使用方法

1：③ポートに吸引用・吐出用の配管を接続します。

2：⑤電源スイッチがＯＦＦ位置になっている事を確認し、電源プラグを三芯接地付きコンセントに差し込んで下さい。

3：②ストローク長調節ノブを回して、吐出方向側に⑦ポンプヘッドを移動し、①流量目盛を設定して下さい。

4：⑤回転数調整ツマミをＬｏ位置にしてから、④電源スイッチを入れて下さい。

5：⑤回転数調整ツマミを徐々に右に回して、任意の回転数まで上げて下さい。

6：送液が終了しましたら④電源スイッチを切って下さい。

7：ご使用後は、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

⚠ ご注意下さい

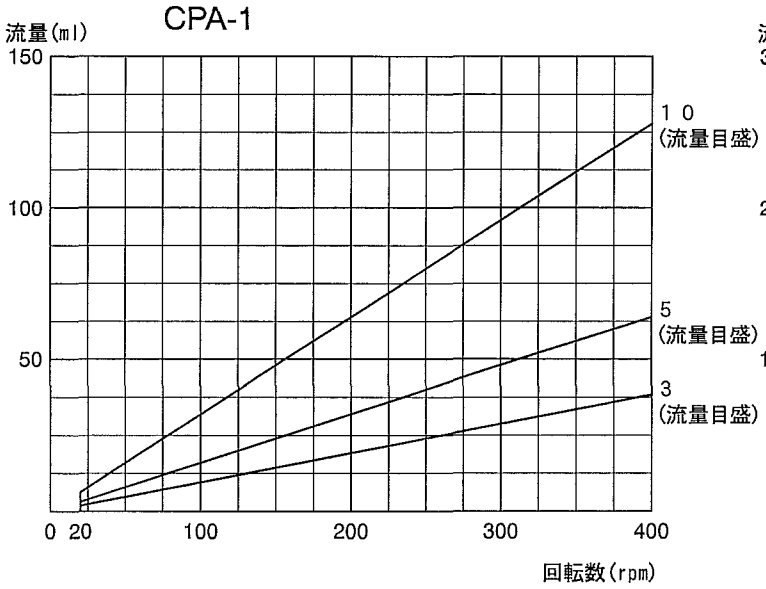
ポンプで送る液体に研磨性(硬質スラリー液等)がありますと、ポンプに損傷を与えますので、研磨性がある液体を送液する事は避けて下さい。

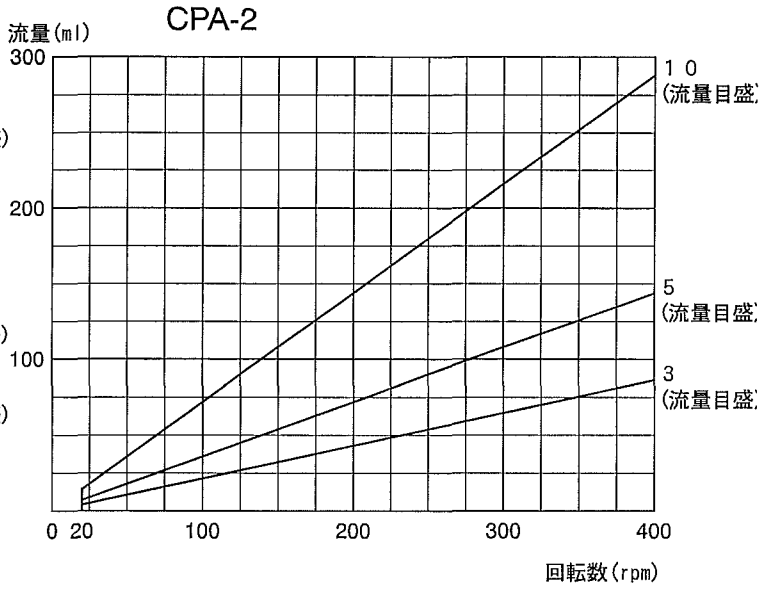
ポンプは送液される液体によって潤滑(冷却)作用を得ていますので、空運転は避けて下さい。

流路内に詰まりが無い事を確認してから、送液を開始して下さい。過剰圧力が掛かりますとポンプ故障の原因となりますのでご注意下さい。

送液を開始する前に再度、配管等の接続が確実に行われている事を確認して下さい。接続に緩みがありますと液漏れやポンプ故障の原因となりますのでご注意下さい。

回転数と流量の関係





計算式

１ストローク流量×(流量目盛×０．１)×回転数＝流量(毎分)

||

ＣＰＡ－１＝０．３２
ＣＰＡ－２＝０．７２

製品仕様

型番	ＣＰＡ－１	ＣＰＡ－２
回転数(rpm)	２０～４００	
送液量(ml/min)	０．５～１２８	１～２８８
1サイクル送液量(ml)	０．３２(１００％時)	０．７２(１００％時)
回転数表示	デジタル表示	
外形寸法(WxDxHmm)	３２５x１５５x１４４	
重量(kg)	４．５	
電源(AC100V 50/60Hz)	１Ａ	
周囲温度範囲(℃)	５～３５	

安全にお使いいただくために

100V専用

◎この製品の電源電圧はＡＣ100Ｖ専用です。
電源電圧が異なりますと機械の故障や
火災の原因となります。

接地必要

◎万一の感電防止のためにアースを
して下さい。

断線注意

◎電源プラグの取り外しはプラグを持って
外して下さい。電源コードを引っ張りま
すと断線の原因となります。

水注意

◎本機は防水仕様ではありません。
ご注意下さい。
また蒸気・結露などにもご注意下さい。

改造禁止

◎分解・改造などは行わないで下さい。
故障や感電事故につながりますので
ご注意下さい。

異常注意

◎異常が発生した場合は電源プラグを
引き抜いて下さい。
修理などはご購入の販売店にご相談下さい。

感電注意

◎濡れた手で操作をしないで下さい。
感電事故につながりますので
ご注意下さい。

警　告

◎動作中にポンプの回転部付近に触れないで下
さい。手や指が挟まれてケガの原因となりま
す。装置の構造上ポンプ周囲にはカバーとの
隙間がありますのでご注意下さい。

警　告

◎動作中に配管や容器の交換をしたりすると液
漏れやこぼれの原因となり危険です。必ず電
源スイッチが切れている事を確認して下さい。

警　告

◎研磨性の液体を送液するとポンプに損傷を与
える原因となります。研磨性がある液体を送
液しないようご注意下さい。

警　告

◎ポンプの破損の原因となりますので空運転は
行わないで下さい。

警　告

◎ポンプが破損する原因となりますので過剰圧
力を生じる詰まりが流路内に無い事を確認し
て下さい。

警　告

◎本装置を不安定な場所で使用しないで下さい。
装置が移動・転倒しケガの原因となります。
設置場所には十分注意して下さい。

実験中の注意

◎試料が飛び散る場合があります。
実験中は必ず防護メガネを着用して
下さい。

◎実験中に飛び散った試料や薬液などは
すぐにふき取って下さい。

◎実験中は定期的に十分な換気を行って
下さい。必要な場合はドラフトなどの
換気設備をご使用下さい。

◎ドラフト内での使用では雰囲気ガスに
より製品の耐久性が著しく低下する
ことがありますのでご注意下さい。

アズワン株式会社

■商品ついてのお問い合わせは
カスタマー相談センター
フリーダイヤル 0120-700-875
FAX 0120-700-763
e-mail q@so.as-1.co.jp
受付時間：午前9時～12時、午後1時～5時30分
土・日・祝日及び弊社休業日はご利用できません。

取扱説明書No.HK-MN1801-0001
2005年10月　第一版作成